

# 平成19年度第1回鎌ヶ谷市地域公共交通会議

## 会議録

日時 平成19年5月24日(木) 午後1時30分～午後2時30分  
場所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター4階 会議室  
出席委員 豊田朋二、布施泰男、岡秀明、渡邊幸一、土屋裕二、緒方宗生、  
加藤廣(代理;増田清)、田村仁(代理;宮本敏夫)、大澤勉、  
小池満尚、三橋裕樹、北村眞一、海老原正博、渡来四郎  
(敬称略)  
欠席委員 大蔵幸雄(敬称略)  
事務局 木暮企画政策課主幹(コミュニティバス担当)、  
杉山企画政策課主任主事、大田企画政策課主事  
記録 杉山

### 委嘱状交付式

会議に先立ち委嘱状交付式が行われ、清水聖士市長の代理として、市長公室長から委嘱状が新任の緒方委員と三橋委員に交付された。

### 1 開会...事務局 (事務局)

今回が、平成19年度第1回の会議であること、委員の交替と新任があったことから、ここで設置要綱について説明したい。参考資料に基づき、説明。この会議は、平成19年3月に初回が開催され、今回が2回目で平成19年度の第1回である。この会議は、みなさんに地域の公共交通について審議いただく場であり、今のところは、コミュニティバスを中心とした会議と事務局では認識している。今後も色々調査をしながら、検討したい。第3条第1項第6号の「市議会議員の代表」については、現在欠員となっている。推薦があり次第、委嘱手続を行いたい。会長は互選となっており、豊田会長が選出されている。

～ここで、各委員自己紹介～

### 2 会長あいさつ (会長)

今回は、今年度の第1回会議である。前回の会議録が配付されているので、後ほどご覧いただきたい。皆さんお忙しいところご出席いただき、感謝している。今回の議題は3件あるので、審議方、よろしくをお願いしたい。

### 3 会議録署名人の選出

(会長)

会議録署名人の選出だが、事務局から提案はあるか。

(事務局)

名簿順でお願いしたい、と考え、名簿の一番上から、布施委員、岡委員をお願いしたい。

(会長)

事務局案について、何か意見等あるか。

(一同)

異議なしと発声する者あり。

(結論)

会議録署名人は、布施委員、岡委員が選出された。

### 4 内 容

(1) 船橋新京成バス株式会社による新規バス路線について

(会長)

船橋新京成バスから説明願いたい。

(H委員)

資料1に基づき説明。平成14年に馬込沢駅からグリーンハイツ路線を開設して以降、同様の路線の要望が数多く寄せられていた。今回の新規路線もその要望のひとつ。運行区間は東武鎌ヶ谷駅からパークサイド鎌ヶ谷を經由して東武鎌ヶ谷駅に戻ってくる左回り循環路線。運賃は全線150円を予定している。運行本数は、平日が52本、土休日が48本。始発は東武鎌ヶ谷駅を6時、終発は東武鎌ヶ谷駅を22時10分としている。使用車両はいわゆる中型車両、運行開始は平成19年8月1日を予定している。

ただし、運行開始日は、道路開通時期によって若干のズレがあると考えている。駅前や路線内でイベントが行われる場合には、事前に連絡いただければ、対応したい。

(事務局)

東武鎌ヶ谷駅前自治会に対して船橋新京成バスから説明会を開催したと聞き及んでいる。地元自治会からは、大きく2点の意見があったとのこと。1点が、路線開設に関するメリットがないということ。これについては、一方で人が集

まり、賑わいが創出されることが大事である、との意見もあった。2点目が、バスの大きさに関するもので、グリーンハイツ路線のような小型バスでの運行はできないのか、という意見があったとのこと。

(会長)

ただいまの説明について、何か質問・意見等あるか。8月1日運行開始予定とのことだが、まもなく8月第1土日に駅前の夏まつりがあるのではないか。もうひとつ、9月16日に商工会主催でYOSAKOIかまがやが予定されている。このあたりのイベントへの対応はどうか。

(H委員)

イベントの場合、事前にお話をいただければ、調整したい。

(D委員)

座席数はどのくらいを予定しているのか。

(H委員)

26～28席を予定している。

(B委員)

ノンステップバスか否か。

(H委員)

ノンステップないしワンステップバスである。他路線と共通して使用する車両となるので、確定できない。

(B委員)

どの程度の利用者数を見込んでいるのか。

(H委員)

1日400名程度を見込んでいる。パークサイド周辺の戸建ても期待している。

(B委員)

運行頻度は20分に1本程度か。

(H委員)

ラッシュ帯は12分間隔、日中は20分間隔を考えている。

(C委員)

このような運行距離が短い路線は他にもあるのか。

(H委員)

ある。今回の路線は1周して2.6キロであるが、これは開業当初のグリーンハイツ線と同等規模である。

(A委員)

東武鎌ヶ谷駅を出発すると、途中で長時間停車することなく、ずっと運行しているのか。

(H 委員)

そのとおり。

(A 委員)

1 周の時間はどのくらいか。

(H 委員)

15 分程度。東武鎌ヶ谷駅では5分程度の停車時間をとっている。東武野田線のダイヤとの乗り継ぎなども勘案している。

(M 委員)

バス路線図からすると「道野辺中央」や「梨の木通り」バス停周辺の住民に説明をしたとのことだが、どのような意見があったか。

(H 委員)

主に3点の意見があった。1点目は、途中区間、「道野辺中央」から「貝柄山公園入口」の間の道路の拡幅がされていないので、運行にあたっては最大限の安全上の配慮をしてほしいということ。2点目は、小型バスでの運行の可否。3点目は、新鎌ヶ谷駅へのバス路線の延伸の可否についてであった。

(M 委員)

小型バスでの運行についてのお考えは。

(H 委員)

新規道路の開通により、中型バス運行が可能となる幅員が確保される。一人の乗務員でより多くのお客様を乗せることができる中型バスでの運行が望ましいと判断している。グリーンハイツ路線は、途中、狭隘な道路があり、物理的に中型バスでの運行が不可能であるため、小型バスで運行している。

(B 委員)

馬込沢駅周辺では、自家用車で送迎する人が多い。バスの運行により駅前広場で、自家用車を停めて待っている場所がなくなってしまった。うまく駅前広場の整理をしたほうがいいのではないか。また、「やむなく、バス停付近で自家用車を停めて待っていたら、クラクションを鳴らされた」というような話も耳にする。東武鎌ヶ谷駅でも似たようなことが起きないか、心配だ。ところで、タクシーに関しては、駅前広場の協議会はあるのか。

(J 委員)

ある。私どもの立場からすると、一般乗用車のマナーの悪さに困っている。新鎌ヶ谷駅でも「ちょっと」のつもりが長時間になると危険なことがある。バリアフリーのところに自家用車を置いて、ファストフードに買い物に行く人もいる。私どもとしては、公共の道路を商売に使わせていただいているという認識は十分持っているが、一般乗用車のマナーについては困っているのが現状。

(N 委員)

駅前広場の連絡協議会だが、東武鎌ヶ谷駅と新鎌ヶ谷駅には、利用旅客連絡協議会があり、そこで協議している。

(C 委員)

途中に「道野辺中央」と「梨の木通り」というバス停を設置した目的は。

(H 委員)

「梨の木通り」は、そこで降りていただいて、周辺の東武鎌ヶ谷駅西側商店街に行くことができる。「道野辺中央」は、道野辺中央コミュニティセンターや新道の出口ということで設置している。他のバス停について補足すると、「貝柄山公園入口」は、ききょう号バス停が既に設定されており、同じ位置にバス停を設置予定。パークサイド内のバス停は、東・北・西に1ヶ所ずつ配置した。

(C 委員)

商店街などと相談はしているのか。

(H 委員)

している。

(M 委員)

市からのお願いとして、パークサイドから新道までは交通量が多いこともあり、安全運行に注意してほしい。

(H 委員)

安全運行には十分注意する。

(会長)

他に意見等あるか。他にないようなので、この件については、ここで終了することとしたい。

## (2) 鎌ヶ谷市コミュニティバス「ききょう号」の一部バス停新設及び路線変更について

(事務局)

この件は、地域公共交通会議の前身である「バス交通体系検討委員会」および「バス交通体系検討専門委員会」において昨年12月に承認いただいた内容であるが、国からの指導によって再度「地域公共交通会議」に諮るように、とのことだったため、再度お諮りしたものである。

資料2により説明。新鎌ヶ谷駅のバス停の関係の見直しである。コミュニティバスは、基本的にお年寄りの利用が多く、より駅に近いところへのバス停移設の要望が多い。北口に3路線とも入り、バリアフリーの形状になっているところへバス停を設置したい。また、南口もバリアフリーの形状になっていると

ころへバス停を移設したい。

今回、承認いただければ、道路管理者との調整をした後、国に申請したい。乗り継ぎについての要望もあり、その点でも改善を図っている。これによる変更は、一部にとどめている。

(会長)

何か質問・意見等あるか。到着時間は基本的に変わっていないという理解でいいか。

(事務局)

その通り。お年寄りについては、あまり時刻表を動かすと混乱してしまうので、一部変更にとどめてある。

(会長)

他に意見等ないようなので、この件は承認することとしたい。

(3) その他

(会長)

その他で事務局から何かあるか。

(事務局)

2点ある。1点目として、平成18年度の「ききょう号」の利用者状況について説明したい。資料3に基づき説明。利用者は旧ルートの2倍になっている。OD調査についても、今後、もう一回実施したい。さわやかプラザ軽井沢の利用者自体は減少傾向にある。「こういう資料がほしい」というものがあれば、お話しいただきたい。

2点目として、白井市循環バス「ナッシー号」の鎌ヶ谷市域への運行計画概要について説明したい。追加資料に基づき説明。要点は 新鎌ヶ谷駅北口に乗り入れたい、さわやかプラザ軽井沢に乗り入れたい、という2点。新鎌ヶ谷駅への乗り入れは、西白井駅から路線を持ってくる予定だが、鎌ヶ谷市内は国道を運行するため、バス停を設定する予定はない。さわやかプラザ軽井沢には、北側から乗り入れる計画。

この地域公共交通会議の前身の「バス交通体系検討委員会」などでも、さわやかプラザ軽井沢への増便を、という意見もあり、各市に依頼をしてきた経緯もある。白井市民からの要望もあり、今回の案となった。鎌ヶ谷市民も、白井市の施設を利用している状況もある。また、白井市との市境の住民の利便性も向上する。

(会長)

今の説明について、何か質問・意見等あるか。白井の路線バスの路線は図に示されていないか。

(事務局)

この図には示されていない。ただ、レインボーバスの路線が新鎌ヶ谷駅から運行されており、「西白井5」というバス停で降車すると、徒歩10～15分でさわやかプラザ軽井沢に行ける。この場では、意見をいただいて、白井市に伝えたい。白井市としては、国へ申請する中で、当市の道路管理者への手続となる。

(C委員)

東初富付近は、ききょう号のバス停と近いところがあるのではないか。

(事務局)

この付近は、ききょう号は運行していない。路線バスが運行している。ききょう号は稲荷三叉路までは行っているが、東側には行っていない。

(C委員)

地域住民としては、こちらを利用すれば、さわやかプラザ軽井沢に行ける人もいるのではないか。

(事務局)

その通り。このあたりを含めて市民への案内をしたい。

(会長)

他になければ、この件はここで終了することとしたい。

## 5 その他

～特に委員から意見等なし～

## 6 閉会...豊田会長

以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成19年6月20日

氏名

布施 泰男

---

氏名

岡 秀明

---